



COMPILATION TOIN 女子サッカー部報告 COMPILATION TOIN

決勝で常盤木学園に0-6で敗れる

めぬまカップ 準優勝

埼玉県熊谷市の大会に参加

全国から強豪48チームが集い埼玉県熊谷市で3月25日から5日間行われた第14回熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ“2008”」(熊谷市・熊谷市教育委員会・(財)日本サッカー協会・(財)埼玉県サッカー協会主催)で大阪桐蔭高校は準優勝となった。昨年は14位で優勝は遠いとおもったが、今年は決勝の舞台に立ち一年間の成長を感じた。

◇予選リーグ(3月26、27日、妻沼運動公園)すべて40分ゲーム()は前半の記録

大阪桐蔭高校4-0(3-0)横浜国際(神奈川)

【得失点】6分柴田、9分村川、18分佐藤え、35分佐藤り

大阪桐蔭高校8-0(3-0)清水国際(静岡)

【得失点】3分柴田、12分六車、18分村川、23分六車、26分柴田、34分佐々木、36分宮本、40分新町

大阪桐蔭高校2-1(2-1)山形西(山形)

【得失点】52秒松井、13分新町、16分失点(PK)

大阪桐蔭高校15-0(7-0)花咲徳栄(埼玉)

【得失点】46秒齋藤、1分佐藤え、6分佐藤え、7分柴田、15分佐藤え、16分齋藤、19分宮本、26分寺本、27分古木、30分佐藤り、35分佐々木、37分宮本、39分古木、41分佐藤り、42分佐々木

大阪桐蔭高校1-1(1-0)十文字(東京)

【得失点】10分六車、21分失点

予選リーグは20分ハーフで行われた。短い時間の試合であったが大阪桐蔭は大量得点をあげた。特に花咲徳栄戦では、スペースをうまく使い息のあったパス回しで多彩なアイデアからの得点が見られた。グループ1位をかけた十文字戦では、昨年も戦ったということでお互いに気持ちの入った試合だった。昨年に続き引き分けたが、得失点差で上回り決勝トーナメント進出を決めた。

◇準々決勝、準決勝(3月28日、利根川総合運動公園)50分ゲーム

大阪桐蔭高校3-0(1-0)富岡高校(福島)

【得失点】12分佐藤え、27分村川、30分佐藤え

大阪桐蔭高校2-0(1-0)文京学院大学女子高校(東京)

【得失点】1分村川、11分田中ゆ

トーナメントのため緊張感のある戦いとなった。富岡高校は情報がなく試合を進めながら特徴を探る戦いとなった。フォワードからプレスをかけ相手にプレーをさせなかった。

準決勝の文教戦でも相手の攻撃を封じ込め、前半CKから得点をあげ、さらに11分攻撃参加したDF田中由女が得点し試合を決めた。後半はやや守勢になったものの得点を与えることなく終了した。

◇決勝戦(3月29日、利根川総合運動公園)50分ゲーム

大阪桐蔭高校0-6(2-0)常盤木学園高校(宮城)

【得失点】17分、22分、43分、77分、78分、79分失点

大勢の観衆が見守る中行われた決勝戦の相手は高校生ながらなでしこジャパン代表が2人いる常盤木学園。昨年U-18日本選手権覇者である。これまで7試合を2失点(うち1点はPK)に抑えていた大阪桐蔭守備陣が簡単に破られてしまった。常盤木の個人能力の高さが目立つのと自由な発想のサッカーがおもしろいように大阪桐蔭守備陣を翻弄した。17分までは相手のシュートミスに助けられ無失点に抑えたが、1点目を献上すると緊張が切れたのか次々と失点を重ねてしまった。前半は何とか2点で抑えたが、後半も常盤木の攻撃はゆるめることがなく大量点を奪われた。

相手は日本チャンピオン、代表選手の存在、多くの観客で緊張感から力が出せなかったかもしれない。それを差し引いても常盤木の能力の高さ、無駄のないパスワーク、まだ発展性を残しながら余力があるプレーは脅威を感じ

る。ただ日本一のチームと直接対決できた経験は大きい。このチームに勝たなければ頂点に立つことはできない。

強豪チームと練習試合

◇4月3日(水)大阪桐蔭4-1(1-0,2-0,1-1)京都バニーズ(L2)30分×3本、京都下鳥羽グラウンド

Lリーグ2部の京都バニーズに勝利した。大阪桐蔭がLリーグチームに勝利したのは初めて。

◇4月5日(土)大阪桐蔭3-3(0-1,2-1,0-0)30分4本、西猪名公園グラウンド

◇4月6日(日)大阪桐蔭3-7(1-1,2-0,0-1,0-2,0-4)25分5本、大阪体育大学グラウンド

高体連春季大会開幕

昨年優勝をおさめた大阪高体連春季大会組み合わせと日程は下記の通り。この大会で上位2チームに入ると7月に静岡県磐田市で行われる全日本高校女子サッカー選手権大会関西予選(6月21日～23日滋賀県ビックレイク)に進出する。

◇組み合わせ

Aグループ:桐蔭、東住吉、堺女子

Bグループ:大商、茨木西、星翔、合同A(柴島、大阪成蹊、箕面自由、千里青雲)

◇日程

4月29日(火)会場:東住吉

9:30～大阪桐蔭6対0東住吉

5月11日(日)会場:大阪桐蔭

13:00～大阪桐蔭対堺女子

決勝戦 5月31日(土)会場時間:未定

西日本大会

3年連続で5月3日から西日本を中心に強豪チームが集まって広島で行われる第20回西日本高等学校女子サッカー大会に参加する。全学年45人で挑む初めての大会。

今年のチームスローガンは「COMPILASION TOIN:集大成」。創部3年目を迎えこれまで3年間の集大成として目標とする大会の成績を残したい。